

## 救急部

部長 松田 直之 (教授)

### いざという時に安心して受診できる診療を整えます

救急専従医を中心に、全診療科の協力を得て、一次～三次救急患者に最善の医療サービスを提供します。

#### 診療体制

救急外来は救急部専従医師の指導で運用されています。昼間、夜間、休日などに重症度と緊急度の高い患者さんに対して、緊急性をトリアージして、優先順位を基盤として診療しています。

#### 対象疾患

徒歩で来院される一次から重症の三次救急患者さんのすべてを対象としています。受診歴のある皆さまの急変を原則として断らない態勢としています。

#### 特色

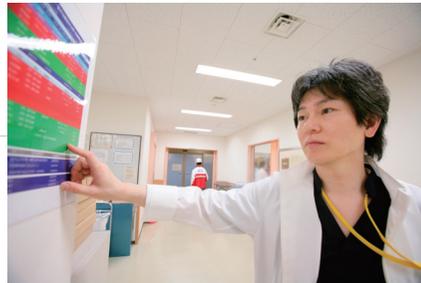
救急外来には救急科指導医・専門医が常駐しており、すべての緊急病態に対応できる体制としています。各専門領域に診療を求めるために各診療科内に当直制を導入しています。

#### 診療実績

2011年度総救急患者数は12,024人でした。救急救命士の就業前・現任教育実習にも協力するとともに、災害拠点病院として大規模災害のための準備を積極的に行っています。

#### その他の取り組み

ふだんかかりつけの専門診療科以外の病気であっても、緊急な状態であれば救急部を受診して頂き、救急の専門診療を提供すると共に、適切な専門診療科の協力を得られるシステムとしています。



## 外科系集中治療部

部長 貝沼 関志 (病院教授)

### 完全クローズド制のICUで、世界最高水準の医療の提供を

すべての最重症患者に対し、診断・治療・看護面から集学的かつ横断的全身管理・医療サービスを提供します。

#### 診療体制

当ICUは、ICU専従医師が24時間常駐し、専門診療科の協力のもと、朝夕カンファレンスを実施し、昼夜を問わず診療を行う完全クローズド制のICUであり、看護スタッフも患者1人につき1～2人の割合で配置されています。

#### 対象疾患

多大な侵襲が加わる心臓手術、大血管手術、腹部外科などの大手術の術後、多臓器の障害や重症感染症を有する外科系の患者を対象とし、特に人工呼吸管理、循環管理、感染管理、栄養管理などの全身管理を行っています。

#### 特色

全国の国立大学附属病院でも完全クローズド制のICUは稀であり、診療のパフォーマンスはトップの成績を収めています。医師、看護師とも安全管理、業務の質改善および先進的医療の推進に積極的に取り組んでいます。

#### 診療実績

2011年度入室患者数は1,098人。ICUのニーズの増加に伴い、2009年に病床を10床から16床に拡大し、院内外の外科系重症患者を積極的に受け入れています。

#### その他の取り組み

世界標準に準拠する標準的医療を提供することを旨とし、EBMを取り入れ、思いつきの医療は排除しています。また、救急・内科系ICUとも常に連携し、大学病院ICUとして難治症例の治療法開発にも積極的に取り組んでいます。

